

新企業広告開始
「いついかなる時も、いちばんそばに。」

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、2022年1月1日より、「いついかなる時も、いちばんそばに。」という企業メッセージと共に新たな企業広告を開始いたします。広告には、相葉雅紀さんを起用し、当社の代理店・社員がお客様のいちばんそばに寄り添う存在であることをお伝えしていきます。

当社はこれまでと変わらず、お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「安心と安全」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献してまいります。

当社は、2022年より新たに「いついかなる時も、いちばんそばに。」という企業メッセージと共に新たな企業広告を開始いたします。お客様の「挑戦」を応援するだけでなく、「万が一のとき」はもちろん「未然の備え」まで広く、お客様を「いつも」支える存在でありたいという思いを込めています。

広告には相葉雅紀さんを起用し、2022年1月1日の新聞広告、1月21日からのTVCM等の放映を通して「いついかなる時も、いちばんそばに。」の思いをお伝えしていきます。

新型コロナウイルス感染症、自然災害の頻発や巨大化、少子高齢化に伴う人口動態の変化、テクノロジーの目覚ましい進展により、個人や企業のお客様を取り巻く環境は大きく変化しています。多様化するお客様のニーズ、顕在化する新たなリスクのなかで、お客様の「いちばんそばに」寄り添う存在でありたいと考えています。この新しい企業メッセージとともに、1879年の創業以来リスクと向き合ってきたプロフェッショナルとして、人とデジタルの力を合わせ、「いついかなる時も」お客様や社会を支えてまいります。

以上

■メッセージ

いついかなる時も、いちばんそばに。

安心と安全で、社会を支える。それが1879年から変わらない、私たちの約束です。

万が一に遭った時の「いざ」はもちろん、新しく挑戦する時の「いざ」まで、「いついかなる時も」頼りになりたい。

目指すのは、お客さまを最もよく知り、「いちばんそばに」寄り添う存在です。

だからこそ私たちは、もっと一人ひとりに向き合います。

人とデジタルの力を合わせ、リスクの対応だけでなく、

リスクの予測・予防を通じて、「いついかなる時も」お役に立ち続けます。

リスクを知り尽くしたプロフェッショナルとして、人生のあらゆる「いざ」を支える存在へ。

いついかなる時も、いちばんそばに。東京海上日動の新しい決意です。

To Be a Good Company



東京海上日動

■特設サイト

www.tokiomarine-nichido.co.jp/itsu-ichi/

■相葉雅紀さん



〈プロフィール〉

相葉 雅紀(あいば まさき)

生年月日:1982年12月24日